

授業と評価の年間計画

教 科	保健体育	科 目	保健
使用教科書(発行所)		現代高等保健体育(大修館)	
履修条件 対象生徒	必修 理数科 1年		
学習目標	(1) 日常的にスポーツに親しむなど、生涯体育の実践を目指して、積極的に運動とかかわるために必要な能力や態度を身に付ける。 (2) 体力の向上を目指し、仲間と協力し、助け合いながら心身を鍛える。 (3) 健康・安全に関する基礎的な知識を習得し、より健康的な生活を送るための実践力を育てる。		
学習方法	<b>【授業】</b> 教科書「現代高等保健体育(大修館)」の内容を中心に授業を行う。視聴覚機器の活用や調べ学習、ロールプレイング、ディベート他、主体的な学習態度が求められる。 <b>【補習・その他】</b> 授業で使用した資料(プリント等)は各自でファイリングするなど保管しておくこと。ノートは授業担当者の指示で提出できるようにまとめておく。		
学習計画 と ねらい	1 1学期 期末考査まで 1単元 現代社会と健康	・健康問題や社会の変化とともに、私たちの健康のとらえ方や健康問題への対策のあり方について考え、健康の考え方の変化について学び、生活習慣病や感染症、薬物乱用、心の問題などの健康問題と対策について学ぶ。	
	2 2学期 期末考査まで 2単元 安全な社会生活 3単元 生涯を通じる健康	・安全な社会づくりについて、安全にかかわる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を学ぶ。 ・心と体は、年齢とともに変化し、健康のために私たちや社会がすべきことも変化している。思春期から中高年期までの健康にかかわることがらについて学び、健康を支えている保健・医療のしくみや、それらの活用のしかたについて学ぶ。	
	3 3学期 学年末考査まで 4単元 健康を支える健康づくり	・健康に生きていくうえでは、私たちを取り巻く自然環境やそれを良好に維持するしくみ、また、社会の制度や活動など密接にかかわっている。それらと個人との努力が組み合わせあってはじめて、健康な生活が実現する。ここでは、健康に関する環境・食品の問題や、働くことと健康の関係などについて学ぶ。	
評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	個人生活及び社会生活における健康の保持増進や、安全への配慮について、課題解決に必要な基礎的事項を理解している。	個人生活及び社会生活における健康の保持増進や、安全への配慮について、課題の解決を目指して考え、判断し、それらを的確に表現できる。	個人生活及び社会生活における健康の保持増進や、安全への配慮について関心を持ち、意欲的に取り組もうとする。
評価方法	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の3つの観点について授業態度、レポート作成、ノート整理、実習、定期考査を参考に総合的に判断して評価する。		
その他			